

第12回 市民と議会の意見交換会 「選挙へ行こう!」



参加者のご意見

政治に興味を持ってもらうにはどうしたらいいの？

- 家庭や地域での会話を通じた政治への関心を喚起する
- 家族で日ごろから政治について話し合う機会を増やす
- 議員・候補者が普段からコミュニケーションをとることが大事
- 教育の場で大切さを教える
- 親が子に教える
- 生活に政治がどう関わっているかを若者が実感できるように
- わかりやすく具体的な公約
- 10～20代は単身者が多く生活感が薄いため、政治に求めるものがないのでは
- 困ったことが選挙で解決すると思えない
- 若い人にはSNSの活用を
- 候補者の20～30代に向けた声（メッセージ）がない
- 議員の考えや活動内容が市民に十分伝わっていない
- 出前講座をもっと開催し選挙や政治の仕組みを学べる場を増やす

投票に行ってもらうには何が必要？

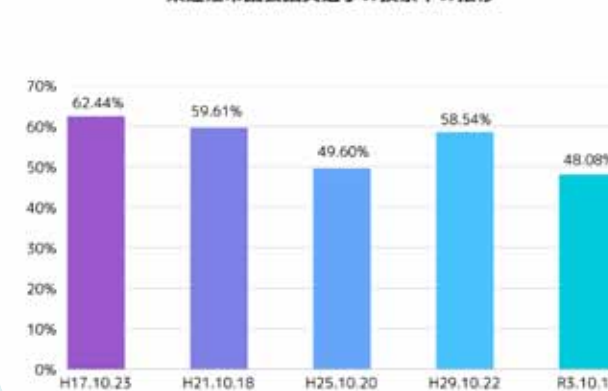
- 投票率が高い自治体に交付金がアップする仕組みにしたなら各自治体が知恵を絞るのでは
- 職場で啓発、勤務時間中の投票
- 平日、深夜までなど時間延長を
- 期日前投票所をもっと増やすなど細やかな対策を
- 投票日、どこの投票所でも投票できるように
- 広報戦略として夏休みなど自治会活動（親と子）で出前講座をしたらどうか
- 一人ぐらい投票に行かなくても変わらない感をなくす
- ちょこっとタクシーを期日前投票の移動手段として活用拡大してほしい
- 投票所をもっと増やしてアクセス向上
- 投票所の雰囲気怖い→若者にも入りやすい雰囲気づくりを
- 投票済証明書を提示することで地元飲食店や量販店での割引などインセンティブをつける
- スーパーの会場を増やす
- ネット投票、移動式投票所、学校での投票

6月28日、湖東コミュニティセンターで「市民と議会の意見交換会」を開催しました。令和7年は選挙イヤー。今年の2月には市長選挙、7月には参議院議員選挙が行われました。また、10月には東近江市議会議員選挙が行われます。

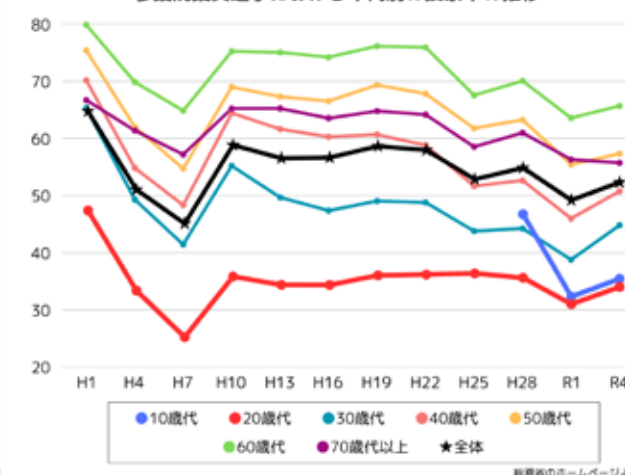
投票率が低下する現状から、どうしたら政治に関心を持って投票に行ってもらえるのか。みなさんとともに話し合いました。



東近江市議会議員選挙の投票率の推移



参議院議員選挙における年代別の投票率の推移



意見交換会の感想

- 議会へ気軽に要望できる雰囲気作りが大切
- 市民と双方向のコミュニケーションを重視すべき
- 昨年の意見交換会で出た意見が実際にどう反映されたかを明確にしてほしい